

## 第38期第12回理事会議事録

日 時：2015年5月21日（木）17時05分～21時00分

会 場：つくば国際会議場 小会議室403

出席理事：新野 宏，藤谷徳之助，岩崎俊樹，榎本 剛，近藤 豊，佐藤 薫，佐藤正樹，  
塩谷雅人，竹内綾子，竹見哲也，田中 博，中島映至，中村 尚，長谷部文雄，  
廣岡俊彦，藤部文昭，三上正男，山田和孝，余田成男，以上19名  
（理事現在数20名）

出席監事：岡本幸三，高谷康太郎，以上2名

その他の出席者：日下，若月（以上筑波大，春季大会実行委員），下道，渡辺，志村（以上事務局）

### 議 題

議事に先立ち，新野理事長より春季大会を担当した筑波大学並びに周辺機関に対して感謝の意が表明された。

1. 第38期第11回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会員26，退会10を全会一致で承認した。2015年5月18日現在，会員数3,567名で個人会員は3,320名。

3. 2015年度総会議案について

2015年度総会の参加票集計結果について報告があった。投票率54.5%，無効票率10.4%と無効票率が高かったことについて，議決権行使と委任の両方に署名が多かったことが報告された。なお，意見の記入については昨年より増えており，回答を天気に掲載することを全会一致で承認し，回答案を確認した。

4. 大会担当機関について

2016年度以降の春季大会及び秋季大会の担当予定機関と日程について確認した。

5. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：村松照男

転載元：

1. Ikawa, M. and Y. Nagasawa, 1989: A numerical study of a dynamically induced Foehn observed in the Abashiri-Ohmu Area. J. Meteor. Soc. Japan, 67, 429-458

図「雄武と羽幌の気圧，風等の時間変化」

2. Ninomiya, K., 1989: Polar/comma-cloud lows over the Japan Sea and the northwestern Pacific in winter. J. Meteor. Soc. Japan, 67, 83-97, Fig. 23 (1987年1月の月平均海面気圧分布), およびFig. 24 (1987年1月の月平均500hPa面高度分布)

3. 深石一夫, 1961: 新潟県における降雪分布について. 天気, 8, 395-402, 山雪型と里雪型の大雪のモデル図

4. 藤田敏夫, 1966: 北陸地方の里雪と山雪時における総観場の特徴. 天気, 13, 359-366,  
第8図下段図

5. 藤吉康志ほか, 1996: 複雑山岳地形が風下の降雪分布に及ぼす効果. 天気, 43,  
391-408, 第4図 中段の図のみ

転載先: 気象災害の事典 (朝倉書店, 編集責任者 新田 尚)

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称: 第33回レーザーセンシングシンポジウム

主催: レーザレーダ研究会

期日: 2015年9月10-11日

場所: 大田区産業プラザPIO コンベンションホール

名義: 協賛

②名称: 第25回設計工学・システム部門講演会

主催: 一般社団法人 日本機械学会

期日: 2015年9月23-25日

場所: 信州大学長野(工学)キャンパス

名義: 協賛

③名称: 「エネルギーと気象工学ー災害に強い電力設備と安定供給を目指してー」出版講演  
会(大阪)

主催: 公益社団法人土木学会エネルギー委員会

期日: 2015年7月24日

場所: 建設交流館(702会議室)

名義: 後援

④名称: No. 15-52 講習会「CFDの基礎とノウハウ」

主催: 一般社団法人 日本機械学会

期日: 2015年7月7日

場所: 東京大学生産技術研究所 An棟3階大会議室(An301, 302)

名義: 協賛

3) その他

①4月20日: 第38期第1回評議員会

②4月21日: 志村隆事務局員着任

③4月24日: 総会資料と総会参加票の送付

会計…2015年4月分の収支及び現預金検査報告.

企画調整…第1回評議員会の速記録及び第2回支部長会議の議事録について今後確認する  
ことが報告された.

講演企画…大会登録時のカナ入力について, 改修が困難なことから, 今回は必須入力と  
して扱いたい旨報告があった. また, 秋季大会のスペシャルセッション6件の報告が  
あり, 申込み時入力ミスを防ぐための仕組みについても報告された.

天気…Vol. 62 No. 5 (2015年5月号) の掲載記事と, Vol. 62 No. 6, 7 (2015年6, 7月号) の予

定記事の報告があった。また、試行期間中だったオンライン投稿について、本運用に移したいとの報告があった。

気象集誌…論文編集・出版のコンサルティング会社に改善の提案と英文校正を、今年度は試行としてお願いすることが報告された。

SOLA…年初からの投稿論文数が25編、出版済みの論文数が21件であることが報告された。秋に行われる日中韓合同気象学会の特別号について、通常の査読プロセスで対応したい旨報告された。

気象研究ノート…230号の第4章が一部欠落していることについて、別刷りを印刷中であり、5月中に再配布を予定していることが報告された。今年度の発行計画について報告。国会図書館への電子データの公開への対応について意見交換を行った。

各賞…奨励賞候補者の推薦について、推薦委員会より候補者が提示され、推薦理由についてチェックを行った。今後、全理事の投票を経て受賞者を決定する。

学術…日本学術会議の大型研究計画に関するマスタープラン2017に向けた研究集会を9月の1,2日に開催することが報告された。

地球環境…温暖化本、第2刷を印刷中。

今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会コミュニティ幹事会（TF幹事会）に関する報告。

教育と普及…夏季大学について、講演者の選定と受付開始の予定日について報告があった。

国際学術交流…日中韓合同気象学会の発展であるAsian Conference on Meteorology 2015について、テーマ及びコンビナーがほぼ固まったことが報告された。6月上旬に登録ページを掲載するために必要な事項について検討し、承認した。

電子情報…KDDIの解約とドメイン移管を行ったことが報告された。また、J-STAGEの対象コンテンツ拡大などを受けた方針説明会の概要について報告された。

人材育成・男女共同参画…以下の報告があった。

- ・若手向けのキャリア相談の場の設置について検討中。
- ・秋の大会においてリクルートブースを設置することと、企業向けアンケート調査を予定している。

## 6. 岐阜大学サポートレターについて

岐阜大学流域圏科学研究センターからの共同利用・共同研究拠点申請に関するサポートレター発出の要請について、認定することを全会一致で承認した。

平成27年6月15日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監事 岡本 幸三

監事 高谷 康太郎